

平成29年度 第1回ニセコ町まちづくり基本条例第4次改正検討委員会  
議事録 まとめ

《基本条例全般について》

- ・形骸化しつつあることも否定できない。まちづくり基本条例を常にブラッシュアップして、暮らしの中に浸透させていかななくてはならない。
- ・新しい職員も増えてきており、まちづくり基本条例を再認識する必要がある。

《前回3次改正答申の際に出た付帯意見について》

- ・検討されたかどうか、現状把握の必要性がある。

《情報伝達について》

- ・情報の獲得方法は人それぞれであるため、様々なツールがある中でどれか1つで発信するだけでは全員には伝わらないということを理解する必要がある（野口先生の研究調査結果でも出ている）。
- ・情報提供は100%どこまでも追いかけていく必要があるのか。そこに労力をかけるよりは内容など別のことに力を注ぐべきでは。
- しかし、情報伝達に格差があってはならないという考え方もある。
- ・情報が効率よく回るには人と人の繋がり（コミュニティー）が重要になる。

《コミュニティー、“繋がり”について》

- ・人々の結合関係が都会の様に希薄になっているところもある。
- ・町内会への加入は大切なこと。
- ・まちのコミュニティー、“繋がり”のありかたを変えていく必要がある。
- ・移住してきた人たちは、その地域の歴史などを受け入れること、もともと住んでいる人は、新しい人を受け入れる寛容な心が必要。
- ・ニセコ町だからこそ成立するコミュニティーがある。
- コミュニティーの繋がりを強くする取り組みを基本条例に取り込んではどうか。

《情報発信する側について》

- ・アクセスしたいと思わせるような工夫が必要である。

《今後の予定について》

- ・様々な意見、改正におけるキーワードを出し合い、今後の方向性を決めていきたい。
- ・本文の改正が必要なのか、前回の改正を今一度見直していくべきなのか、新しい概念を取り入れるべきなのか、それよりほかにやるべきことがあるのか、方向性を見出していく。

《まちづくり町民講座》

- ・10月24日（火）に町民講座を行う。  
（コミュニティーや“繋がり”を絡めた内容で野口先生にお願い）
- ※もう少し議論が深まってきた冬に、改めてもう1度行う予定

以上